



59

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2021年6月20日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

? コロナ下で「熱中症弱者」の高齢者が気をつけたいこと

23日(水)＝くらしナビ面



今年も暑い夏が近づいてきました。気温も徐々に上昇し、熱中症の危険性が高まっています。特に、体温調整の機能が低下している高齢者は「熱中症弱者」と呼ばれていて、重症化する危険性が高いと言われています。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、感染対策のため外出の自粛が求められている影響で、高齢者が自宅で孤立し、熱中症が見逃される危険性が指摘されています。十分な運動ができていないため、体が暑さに十分慣

れていない恐れもあります。

コロナで新しい生活様式に変わる中、高齢者やその家族はどんなことに気をつけたら良いのでしょうか。救急医学の専門家に尋ねました。

特集 ワイド

谷川九段が語る「藤井聡太論」

21日(月)＝夕刊特集ワイド



史上最年少で2冠を獲得した藤井聡太棋聖(18)＝写真④＝の活躍などで、将棋界は空前のブームが続いています。その藤井さんは現在、第92期棋聖戦五番勝負で初防衛を目指しています。藤井2冠と同じく「中学生棋士」として華々しくデビューし、史上最

年少名人記録と十七世名人の資格を持つ谷川浩司九段(59)＝同④＝は、今の藤井さんを見ています。谷川九段の「藤井聡太論」を語っていただきました。



生態学者が田んぼを耕すその理由は

22日(火)＝環境面

「谷津（やつ）と呼ばれる谷あいの耕作放棄地を再生させ、米作りをする国立環境研究所室長、西広淳さん」写真②

つです。農業の近代化や都市化に伴って見放された土地ですが、この田んぼには、地球温暖化に歯止めがかかる第6期の大量絶滅期といわれるこの時代に欠かせない、多様な機能があり、積み

重ねると立派な「グリーンインフラ」になるのだといえます。生態学を専門とする西広さんがなぜ今、自ら耕すのか。田んぼ再生の意義を聞き

沖縄慰霊の日

24日(木)＝社会面など



沖縄は23日、太平洋戦争末期の沖縄戦などの犠牲者を追悼する「慰霊の日」を迎えます。

76年前の約3カ月に及ぶ地上戦は一般住民も巻き込み、日米合わせて約20万人が命を落としました。23日は沖縄県糸満市摩文仁の平和祈念公園で、

県などが主催する「沖縄全戦没者追悼式」が営まれますが、戦争の悲惨さと平和の大切さに思いを巡らす沖縄の一日をお伝えします。

沖縄戦の戦没者を慰霊する魂魂の塔に手を合わせる人たち＝沖縄県糸満市で2020年6月23日撮影

新毎日

150
2022年2月21日
毎日新聞創刊150年

(斎藤 広子)

もうすぐ夏休み。宿題をどうするか親子で悩む季節が近くなってきましたが、毎日小学生新聞で毎年夏、悩める親子向けに「自由研究お助け隊」という特集が掲載されています。今年も「オーブンで挑む文土器」「昆虫食に挑戦」など多彩な内容で準備中だとか。お得な価格でプレゼント付きの「夏休み限定セット」の受け付けも月末から始まります。ぜひご覧ください。

竹橋の窓から

編集後記

